－淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん－

VOL.８８

月刊 ポケット あわじ

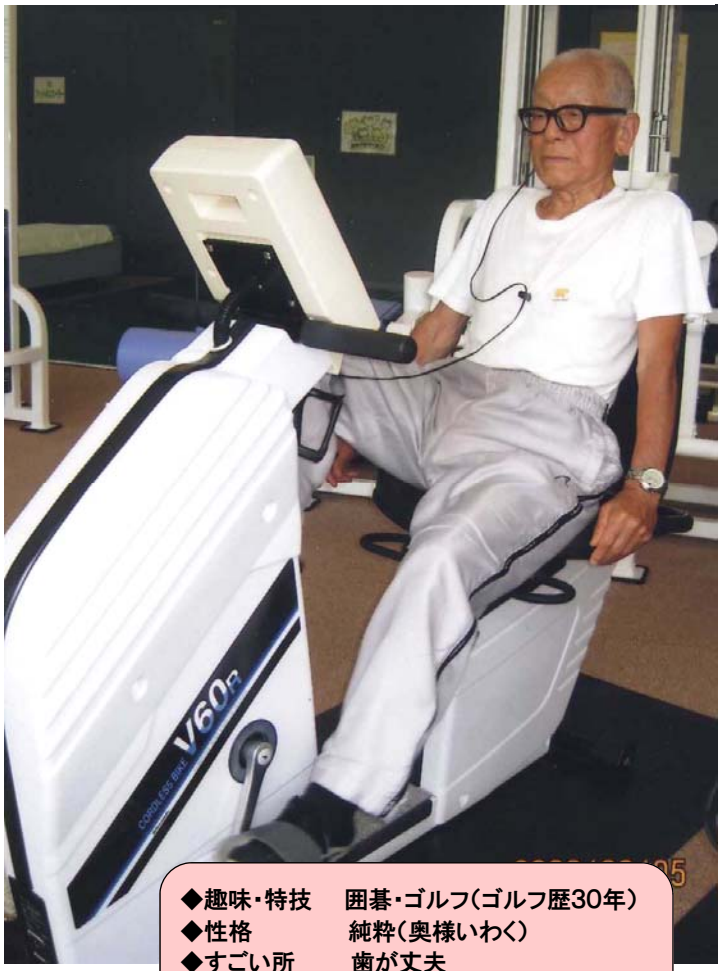
発行日　２００９年９月１日

淡路お達者列伝

祝 御長寿

南あわじ市　**樫野（かしの）　謙三（けんぞう）さん**

大正９年７月１９日生まれ　８９歳



樫野さんは大阪出身で、会社を退職後淡路で１８年間玉ねぎ農家をしていました。現在は玉ねぎ作りをやめ、奥様と姑さんの３人で生活をしています。

そんな樫野さんの日課は、南あわじ市文化体育館のジム通いです。腹筋１０回、背筋３０回、ダンベル運動、自転車、トレーニングマシン・・・９０才とは思えないパワーでメニューを黙々とこなしていきます。

樫野さんはジムに通い始めた平成１２年から、トレーニングの細かい記録をすべてファイルに綴り、自分の健康管理をしています。そのファイルの分厚さにびっくり！

また、樫野さんのパワーの影には、奥様しげ子さんの愛情こもったバランス良い食事がありました。朝食は、雑穀米・野菜・豆類など、たくさんの種類の食材を食べ、昼食は軽めにパン食、お茶の時間にはお抹茶、そして旬の食材を使った夕食で１日を締めくくります。食材はもちろん有機・減塩などのこだわり食材。ちなみに樫野さんの大好物はヒレステーキだそうです。

一方、奥様は約２０年間、毎日の食事メニューを欠かさず記録しています。その手帳の束と記録の細かさにまたびっくり！！

分厚いファイルと手帳の束には、お互いの健康を思いやるご夫婦の気持ちがつまっていました。

ご長寿の秘訣は夫婦愛とデータ管理。樫野さん夫婦のように、みなさんも今日から運動と食事の記録をはじめてみませんか？

応援隊：川原雅代・坂本厚子
８月４日取材

◆趣味・特技　囲碁・ゴルフ（ゴルフ歴30年）
◆性格　純粋（奥様いわく）
◆すごい所　歯が丈夫
（高齢者歯科祭りで優秀賞4年連続受賞）
「勲五等瑞寶雙光章」叙勲

応援隊が見つけた！ ますますイキイキ

もくじ

今月の特集　「淡路お達者列伝」
応援隊が見つけた！ ～ますますイキイキ～

P.1　樫野　謙三さん
P.2　新居　三代枝さん、櫟　光隆さん
　　中村　久一さん
P.3　菊川　兼男さん、川西　俊一さん
　　濱端　かめのさん
P.4　この季節のちょっと寄り道
　　淡路のちょいワザ・おおワザ・おもしろワザ名人紹介
P.5　平成２１年度県民交流広場等ネットワーク化支援事業
　　野菜ソムリエ金山京子さんの「淡路の旬を食べよう」
P.6　淡路文化会館・淡路生活科学センターからのお知らせ
P.7
P.8　淡路の文化活動・イベント情報

応援隊取材記事　・新居　三代枝　さん
・櫟　光隆　さん
・中村　久一　さん

「飛騨高山の冬景色」

洲本市　新居（にい）　三代枝（みよし）さん　大正9年9月18日生まれ　88歳

新居さんは、ちぎり絵、お料理、短歌、裁縫などの趣味や特技がたくさんあり、先日も50号サイズのちぎり絵「飛騨高山の冬景色」が見事に完成。玄関や部屋にも自作のちぎり絵が飾られています。

50年前に旅館「玉屋」を開業し、浴衣、丹前なども手作りしていました。今では息子さん夫婦に旅館を任せ、犬2匹と近くで暮らしています。

今年89歳になる新居さんですが、毎月1日と15日はお赤飯を炊いて、お墓の掃除とお参りに出かけます。お正月になると子どもと孫達22人が集まり、まごころのこもった新居さんのおせち料理をみんなでいただきます。

6月には香川の金毘羅山の階段を自分の足で登りきり、「風がすごく気持ち良かった」と話してくれました。

平成19年に新居さんが発行した短歌集には、141首の短歌が紹介されていて、そのはじめには“ふくれず　おこらず　たかぶらず”と書かれています。

まごころと誠実さが、新居さんの元気の秘訣になっていると感じました。　応援隊：川野　喜美枝
8月7日取材

“若き日に行き交うだけで頬を染めて　ものも云わずに過ぎた青春”
“歯は枯れて耳は機械で目は複製　杖は持たねど尚夢を持つ”

洲本市　櫟（いちのき）　光隆（こうりゅう）さん　昭和2年1月2日生まれ　82歳

みったかちゃんは
いつもニコニコ♪

淡路島では、お寺のお坊さんの事を、子どもからお年寄りまで「おじゅっさん」と親しみを込めて呼んでいます。

五色町広石の持明寺（じみょうじ）には、子ども達をいつも温かく見守っている「おじゅっさん」がいます。

昭和24年9月に先代住職だったお父さんと持明寺子供会を作り、お寺でお経の勉強会にお習字を教えたりして今年で60年になります。昭和59年まではそろばんも教えていました。現在は月曜日から金曜日の午後1時から5時まで50人の子ども達にお習字を教えています。みんな好きな時に来て練習をし、帰りにお菓子をもらいます。教室の壁は子ども達の作品でいっぱい！！毎年夏休みの終わりには真言勉強会も催しています。

子ども達に「いつもおじゅっさんの事なんて呼んでいるの？」と聞くと「みったかちゃん！」と大きな声で教えてくれました。その時のおじゅっさんはとても嬉しそうでニコニコ♪まるで子どものように笑っていました。きっと毎日子ども達に元気をいただいているのでしょう。

たくさんの子ども達と過ごす時間をいつも楽しみにしていると笑顔でお話ししてくれました。

応援隊：竹原祐乗
8月18日取材

壁には作品がズラリ

淡路市　中村（なかむら）　久一（ひさいち）さん　大正5年11月20日生まれ　92歳

中村さんの元気の秘訣は「物事を苦にしないで何事も善意に考えること。」

6年前に奥さんを亡くし、現在はひとり暮らしですが、毎日の食事も自分で作っています。栄養のバランスを頭の隅におきながら、自分の好きなものを好きな味付けで腹八分目食べるそうです。

春と秋には娘さんと旅行に出かけ、そこで撮った写真に川柳を詠み、手作りのアルバムを作っています。

平成19年に発行した「ふるさと～野島の巻～」は蟇浦（ひきのうら）大石地区出身者全員に配られ喜ばれています。最近は「ふるさと淡路島」を製作中で、時間があればバイクで出かけ淡路島の風景の写真を撮っています。

また、ビデオ観賞も楽しみの一つで、天気の悪い日は地域の皆さんと、ビデオを見ながらおやつを食べ、おしゃべりをします。それも若さを保つ秘訣かもと感じました。

平日はびわの手入れに余念がなく、92歳になった現在でも毎日びわ山に行き、びわとの対話を楽しんでいます。毎年びわの袋かけや、草刈りをしながらびわ狩りのお客様を迎えます。

まだ卒寿
越えたばかりの
農作業

「びわは食べる人の立場に立って作るのが一番。そしてお客様から見事なびわで、おいしかったと言われると嬉しくて、また意欲がわいてくる」「周りの人たちに支えられて健康であるので、お返しのつもりでびわの品種改良に挑戦し、接ぎ木等をしながら野島の地に合ったびわ作りを目指している」と、びわに対する熱い思いを語る中村さんの目は希望に輝いていました。応援隊：廣岡ひろ子　8月12日取材

応援隊取材記事　・菊川　兼男　さん
・川西　俊一　さん
・濱端　かめの　さん

南あわじ市　**菊川（きくかわ）　兼男（かねお）さん**　大正3年1月7日生まれ　95歳

菊川さんは、高校で教師をしていた頃から、郷土史や芸能史の研究を続けてこられ、洲本高校校長を退職された後もますますパワーアップ！！

「三原郡史」「続三原郡史」の編集や文化財保護委員を40年歴任されるなど郷土文化研究の第一人者として大活躍です。その功績が認められ数々の賞も受賞されています。

現在、91歳の奥様と生活されるその元気の秘訣は「こけるな！風邪ひくな！食べ過ぎるな！」(^u^)歴史の勉強をするのが趣味で、1カ月に何冊もの本を読みます。

淡路人形浄瑠璃について熱く語るその姿は若々しく、ユーモアもあり全く年齢を感じさせません。しっかりとした口調で、わかりやすく話してくれました。

来年の2月11日には西宮市の芸術文化センターで淡路人形浄瑠璃についてのトークショーが行われます。95歳にして檀上に立ち続ける菊川さんの熱意を皆さんも感じてみてください。

応援隊：浜田　泰美
8月4日取材

受賞歴
平成12年　文化財保護法記念文部大臣賞受賞
平成18年　兵庫県高齢者特別表彰受賞

洲本市　**川西（かわにし）　俊一（しゅんいち）さん**　大正9年5月6日生まれ　89歳

夏のスイーツ特集で登場していただいた「わらび餅のおじさん」こと川西俊一さん。
「おじさんのことをもっと知りたい！」というみなさんの声にお応えして、今回は川西さんの素顔に迫ってきました。

夏場の自転車屋台はもちろん、冬場も「あめ細工」の屋台で活躍している、まさに現役バリバリの川西さん。

洲本市海岸通に生まれ、その後、戦争、土木作業、漁業・・など、さまざまな経験を積み、20代後半に手作り自転車屋台をスタートさせました。

何度も失敗を重ねながら、「カラメル焼き」「わらび餅」などを独学で身につけ、さらに、昔東京から海岸通りまで商売に来ていたあめ細工職人を、20日間自宅に泊め、技を見よう見まねで覚えた…という事です。これが今の「あめ細工」のはじまりです。川西さんのお話を伺っているだけで「生きる力」が伝わってきます。

毎日楽しく仕事をする川西さん♪

今も変わらずイキイキとしている理由を伺うと、仲良しの奥様やお友達と一緒にカラオケをすることや、毎日声を出してお経をあげることだそうです。「心を込めて声を出す」という事が川西さんの若さと元気の秘訣のようです。

前回の取材でもみなさんの一番の関心事、恋多き時代のお話も少し伺いました。

川西さん71歳、奥様36歳でのご結婚・・・。奥様にその決断理由を聞くと「この人と一緒におったら、自分の人生変えてくれるんちゃうか・・と思った」との事。素敵ですね～。

今も穏やかで仲のよいご夫婦というのが、そばにいるだけで伝わってきます。

川西さんの「自分史」は、とにかく波瀾万丈、一本の素敵な映画になりそうです。今は全国でも珍しくなっている「あめ細工」を見せていただきながら、素敵なお話も聞いてみて下さい！

応援隊：水田未央子　8月9日取材

洲本市　**濱端（はまばた）　かめのさん**　大正6年1月1日生まれ　92歳

かめのさんには、子供が8人、孫が13人、曾孫(ひまご)が8人、玄孫(やしゃご)が2人いて、毎日元気に趣味の読書や編み物に励んでいます。

玄孫のるかちゃん(4歳)にキャラクターの編みぐるみを作ってあげては一緒に遊んだり、手芸作品を老人会の作品展に出展したりと、器用な腕前を果敢に発揮しています。

元気で達者の秘訣は若い頃から良く体を動かし、手先を動かし、そして楽しくお喋りをして笑うことだそうです。

実はかめのさんには双子のお姉さんがいます。

洲本市安乎町で11人兄弟姉妹の7番目と8番目として双子で誕生し、まだ双子が珍しい時代、お正月に誕生した娘達に長寿の意味を込めて「鶴と亀」を名前に託しました。そして姉はこつる、妹はかめのと、おめでたい名前になったそうです。その後、姉は淡路市に嫁ぎ、妹のかめのさんは洲本市に嫁ぎました。

人生のうち70年以上は別々に暮らしていますが、嫁いだ後も連絡を取り、支えあっています。

「つるさんかめさん」の仲良し双子姉妹でいつまでも元気でいてくださいね。

応援隊：田村ひろ子　8月7日取材

この季節のちょっと寄り道

渡れば長生き
宝生寺　長寿橋

住所：淡路市里326
電話：0799－62－2905

淡路島七福神霊場の一つであります「宝生寺」には、寿老人をお祀りしています。本堂の横の池には、渡ると健康で長生きが出来るといわれている「長寿橋」が架かっていて、参拝に来られた方はこの橋を渡り長寿を願います。

橋の欄干にはたくさんの寿老人の絵馬がつられ、願いごとが書かれています。「足腰が丈夫でありますように」や「ボケないように」など、老いへの不安が少しでもなくなるようにと願う気持ちでいっぱいです。

橋の下には亀さんがいて「べっちゃない、べっちゃない」と首を伸ばしています。

どうぞ長寿を願い、橋を渡りに訪れてみてはいかがでしょう。

応援隊：竹原祐乗

淡路の ちょいワザ・おおワザ・おもしろワザ 名人紹介

よさこい名人　まえたに　たかみ　前谷 貴美 さん

「夏祭りで会場を盛り上げてほしい！」というお話を頂いて、７月２５日、洲本市下内膳の夏祭りでよさこいを踊ってきました。

よさこいとは「鳴子」という木製の鳴り物を持って踊る踊りで、高知県から始まり今では全国各地で様々なイベントも行われています。

下内膳の夏祭りは今年が第一回目と言うこともあり、町内会長さんを始め、皆さん準備からとても気合いが入っていて、当日も少し天気が悪かったにも関わらず本当にたくさんの方が祭りを楽しみに来ていました。

様々な催しがあった最後に私達のステージがあったのですが、小さなお子様からおじいちゃんおばあちゃんまで、一緒に楽しめるステージにする事が出来ました。皆様の暖かいご声援・手拍子等々のおかげです。

これからも様々な場所で活動していきたいと思っています。皆さんも私たちと一緒に楽しく踊ってみませんか？

（前谷）

淡路の「ちょいワザ・おおワザ・おもしろワザ名人」とは、島内に在住か在勤または、活動の拠点があり、自分の知識や技能を地域活性化のために活用したいと考えているボランティア精神満杯の方です。「ワザ名人」たちは、地域の集まりやイベント、グループの講座などで指導やワザの披露に活躍中です。「ワザ名人」に登録したい！または「ワザ名人」を紹介してほしい！という方（団体）は、淡路生活創造情報プラザ（淡路文化会館内 TEL：0799－85－1391）まで連絡をください。

平成21年度 県民交流広場等ネットワーク化支援事業

じっくりとパネル見学

身振り手振りで熱く語って頂きました！

７月２６日（日）、淡路文化会館講堂で、平成２１年度県民交流広場等ネットワーク化支援事業を行い、３８名の参加がありました。今回は各広場が自分たちの活動を紹介するパネルを作って会場に展示し、１広場3分間でそのパネルを使って説明しました。どの広場も工夫を凝らしたパネルを作成して、熱意のこもった説明をしました。

制限時間を告げるベルの音が鳴っても、まだまだ語り尽くせない様子でした。

１１月に全県規模で行われる県民交流広場の大会「コミュニティアワード２００９」に出場する代表２広場もこの場で決定しました。

最初に堺活性化委員会が立候補し、続いて投票でくましろふれあい広場が選ばれました。ともに淡路のコミュニティの代表として、全県に淡路の良さを発信していただきます。

作成したパネルは、それぞれの広場に掲示して、地域の人々に広場の活動をより知ってもらうように役立てます。

野菜ソムリエ　金山京子さんの「淡路島の旬を食べよう」

今月のお野菜は〝イチジク〟

イチジクは、クワ科イチジク属の落葉性低木で世界史上最も古いフルーツの一つとも言われています。

「花が無い果実（無花果）」と書いてイチジクと読みますが、実際は私たちが食べている部分の内側に花が咲きます。割ったときに見える粒々が種です。外側でなく内側に花が咲くことからこの漢字が当てられたのでしょうね。

淡路には40年代に入ってきたと言われていて、56年に導入され五色、北淡、津名で栽培が始まりました。淡路で出回っている品種はほとんどが「桝井ドーフィン」で、この品種は大粒で成熟してもイチジクが裂けにくいのが特徴です。

イチジクは収穫したら２日間で食べきらないといけないぐらいデリケートな果物なのでスーパーなどでは朝採りが販売されているのですね。

イチジクをもいだ時に出る白い液体はタンパク質で肉との相性が良いとされています。

生ハムにはメロンというイメージですが、最近ではイチジクに生ハムを巻いて出すレストランも増えています。

以前に女性の更年期障害を緩和するというのが話題になり注目されたのも記憶に新しいと思います。江戸時代に記された書物には医薬品として「五種類の痔を治す」とされています。

これからが旬のイチジクを楽しんでたべましょう！

ここで私の悩みを1つ。旧約聖書の創世記にアダムとイブがイチジクの葉で肌を隠したあの有名な一節が登場しますがイチジクの葉の裏側って小さなトゲがあるんですよ。

２人はかぶれに悩まされたのでしょうか？

イチジクを見かけたら葉の裏側も見てくださいね。

淡路島民俗芸能フェスティバル

入場無料

淡路島内の各地に受け継がれている
伝統芸能や郷土芸能、創作芸能のステージイベント

島内１３団体に加えて、徳島県から２団体が出演して、伝統芸能や郷土芸能、創作芸能の一大ページェントを繰り広げます。
オープニングでは、保育園児のかわいい踊りも登場！！

と　き
平成21年 10月11日(日)
10:00～16:00

ところ
洲本市文化体育館
しばえもん座(文化ホール)

出演団体

- 洲本市内の保育園児
- 民舞 汐彩会
- 五色サルビア･エコー&大野すずらんコーラス
- 淡路人形浄瑠璃青年研究会
- 大野わらじクラブ
- 藤間流 藤の会
- 福童
- さかな節保存会
- 西淡鳴潮
- 和太鼓 美鼓音
- 一宮民踊同好会
- 東浦盆踊音頭保存会
- 東浦大漁太鼓愛好会
- 岩屋音頭･在所音頭保存会
- 阿波木偶箱廻しを復活する会（徳島）
- 寄井座（徳島）

（順不同）

同時開催
- 淡路各地の伝統芸能のパネル展示
- 淡路の伝統芸能のDVD放映

主催：淡路島民俗芸能フェスティバル実行委員会　　淡路県民局県民室 淡路文化会館　（問い合わせ先）℡0799-85-1391
後援：洲本市・洲本市教育委員会・南あわじ市・南あわじ市教育委員会・淡路市・淡路市教育委員会・淡路文化団体連絡協議会

～リサイクルセール･イン淡路2009～

従来の使い捨て文化を見直し、物を大切にする心を養うために実施するリサイクルセール。
家庭内の不用品や手作り品を持ち寄るフリーマーケットに出店していただく方を募集しています。 ぜひ、ご参加ください。

【と　き】　平成２１年１１月２３日（月・祝）　１０：００～１３：００
【ところ】　県立淡路文化会館（淡路市多賀６００）
【募集数】　約８０店　（応募者多数の場合抽選・晴天時のみ）
【出店料】　１，０００円
【協力金】　売上金の１０％を協力願います。（福祉施設へ寄付します。）
【販売物】　リサイクル生活用品、手作り品
（ただし、生き物、危険物、食品衛生上不適なもの及び合成洗剤は除きます。）
【募集期間】　平成２１年９月１０日（木）～９月３０日（水）必着
【応募方法】　所定の申込書に記入のうえ、持参、郵送又はＦＡＸで下記までお申込みください。
（申込書は、淡路文化会館、各市役所、公民館等にあります。）

【申込み・問合せ先】
淡路県民局　淡路生活科学センター（淡路市多賀600）
TEL0799-85-0999　　FAX 0799-85-0400

【時】開催日等 【所】場所 【料】料金 【問】問い合わせ先

■淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」■ ℡ 74-1200　FAX 74-1201　〒656-2306 淡路市夢舞台4
【料】〈「やっぱり、ひょうご」ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ価格 ～9/30まで〉 大人300円、ｼﾙﾊﾞｰ150円、高校生180円、中学生150円、小学生90円
〈10月1日以降は通常入館料金〉 大人600円、ｼﾙﾊﾞｰ300円、高校生360円、中学生300円、小学生180円

○秋色ガーデンショー2009－竹取物語－【時】9月12日(土)～11月15日(日)
◆竹取物語
美しいかぐや姫を秋色の花でｲﾒｰｼﾞした「かぐやの庭」は日本の月見の庭をｱﾚﾝｼﾞし、宇宙と地球をつなぐﾓﾀﾞﾝｶﾞｰﾃﾞﾝ「月の庭」・おじいさんとおばあさんと暮らした「秋の里庭」で構成されます。月からやってきたかぐや姫の庭は、美しい日本の秋の月景色であり、宇宙を感じさせる壮大な庭です。
◆伝統園芸ルネサンス
造形作家向山潔、左官親方久住有生と辻本智子のｺﾗﾎﾞで創るｼﾞｬﾊﾟﾈｽｸ空間で楽しむ伝統園芸の世界
(1)朝顔と伝統園芸植物 9/5(土)～9/27(日)　江戸時代に園芸ﾌﾞｰﾑを起こした変化アサガオなどを展示
(2)THE BONSAI 10/3(土)～10/12(月祝) 和ﾓﾀﾞﾝで作り上げた空間で盆栽の小宇宙を楽しめる展示
(3)菊花展 10/17(土)～11/8(日)(予定)　世界から注目を受けている日本の菊作りを一味違う世界で紹介
◆おしゃれな秋を演出するｶﾞｰﾃﾞﾝﾌﾟﾗﾝﾂたち　秋の花の魅力を最大限に生かしたｶﾞｰﾃﾞﾆﾝｸﾞﾃｸﾆｯｸを紹介
◆屋外展示　9/19(土)～10/25(日)(1)ｳｫｰﾀｰｶﾞｰﾃﾞﾝｼｮｰ月の海－　【所】貝の浜
(2)ｺﾝﾃﾅｶﾞｰﾃﾞﾝｼｮｰｰｻﾙﾋﾞｱｳｫｰｸｰ【所】淡路夢舞台園路沿い

○第２回辻本智子のｶﾞｰﾃﾞﾆﾝｸﾞ講座　秋の和の壁面緑化【時】9月27日(日)受付12:00～　開講13:00
【料】10,000円(入館料込)【講師】辻本智子(奇跡の星の植物館ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ)※要予約

○盆栽教室【時】10月3日(土)、12日(月祝)　各日11:00～、14:00～
【料】　無料(入館料別途必要)【講師】西川智也(しらさぎ園)松末浩二(翠松園)※予約不要

■国営明石海峡公園■ 管理センター ℡ 72-2000 〒656-2307 淡路市南鵜崎8-10
【入園料】大人400円 小人(小･中学生)80円 駐車料金:普通車500円

○淡路花祭２００９秋【時】9月19日(土)～10月25日(日)【料】実施ｲﾍﾞﾝﾄにより参加費が異なります※入園料･駐車場料金は別途必要。
期間中は手作りｱｰﾄ縁日やｴｺｱｳﾄﾄﾞｱｸｯｷﾝｸﾞ、ﾐﾆ園芸体験などたくさんのｲﾍﾞﾝﾄを実施予定。

○淡路の秋まつり【時】10月10日(土)、11日(日)開場9:30【料】両日とも入園無料
ｴｲｻｰやよさこいなどのｽﾃｰｼﾞｲﾍﾞﾝﾄ、夜店大集合などｲﾍﾞﾝﾄが盛りだくさん。

○エコdeアウトドアクッキング【時】9月27日(日)10:00～15:00
【料】大人800円、小学生以下500円※無料エリアにて開催します※駐車場料金は別途必要。【申込】9/15までに管理ｾﾝﾀｰまで
竹を使ったｴｺなｱｳﾄﾄﾞｱｸｯｷﾝｸﾞの極意を、野外料理の達人たちが伝授します。

○手づくりアート縁日【時】9月19日(土)、20日(日)10:00～16:00【料】参加費無料※入園料･駐車場料金は別途必要。
巷で話題の手作り市を実施します。

★しづかホール★ ℡ 62-2001 〒656-2132 淡路市志筑新島5-4

○要舟会舞踊発表会【時】9月27日(日)13:00～【問】しづかホール【料】無料

○爆笑!!お笑いバトル2009 in あわじ【時】10月17日(土)①12:00～②15:00～【料】前売3,200円 当日3,500円(全席指定)
大人気のお笑い芸人たちが“しづかホール”にやってくる!!【出演】桜塚やっくん、U字工事、狩野英孝　など

★洲本市文化体育館★　℡ 25-3321

○生かせいのち公開講座 真言法話の集い
【時】9月16日(水)13:30～【所】会議室2C【料】無料
【問】三宝院中 ℡ 35-0029

○武庫川女子大学附属高等学校･中学校ﾏｰﾁﾝｸﾞﾊﾞﾝﾄﾞ部公開練習
【時】9月22日(火祝) 10:30～12:30 13:30～18:30
23日(水祝) 9:00～12:00 13:00～15:30
【所】ﾒｲﾝｱﾘｰﾅ『しおさい館』【料】無料
【問】洲本市文化体育館

○パッチワーク作品展
【時】9月26日(土)、27日(日)9:00～18:00【所】会議室1A
【料】無料【問】桐本 ℡ 090-8656-1077

○洲本吹奏楽団ﾌｧﾐﾘｰｺﾝｻｰﾄ しばえもんdeコラボ祭2009
【時】9月27日(日)14:00～【所】文化ホール『しばえもん座』
【料】無料【問】洲本市文化体育館

○中村紘子ﾃﾞﾋﾞｭｰ50周年記念ﾘｻｲﾀﾙ in SUMOTO
【時】10月17日(土)19:00～【所】文化ホール『しばえもん座』
【料】A席8,000円、B席7,000円(全席指定)※未就学児入場不可
【問】中村紘子ﾃﾞﾋﾞｭｰ50周年記念実行委員会 ℡ 22-3264

○生かせいのち公開講座 真言法話の集い
【時】10月21日(水)13:30～【所】会議室2C【料】無料
【問】三宝院中 ℡ 35-0029

○ＢＩＧＩＮ コンサート２００９
【時】10月25日(日)18:00～【所】大ホール【料】5,500円(全席指定)
※小学生以上有料※未就学児は無料(大人1人につき子ども1名まで膝上可)。ただし、座席が必要な場合はﾁｹｯﾄが必要
【問】(株)サウンドクリエーター ℡ 06-6357-4400

◆講演会「写真は時代を語る」◆　【問】全日本写真連盟淡路支部事務局(木場) ℡ 090-2388-2897
【時】10月23日(金)19:30～【所】緑市民ｾﾝﾀｰ【料】500円【講師】野水正朔 氏(二科写真部会員、南あわじ市在住)
昭和30年以降の淡路島内の懐かしい風景などの写真をｽｸﾘｰﾝに映しながら当時のことを語っていただきます。

◆講座情報◆　洲本市立淡路文化史料館 ℡ 24-3331 洲本市山手1-1-27

○歴史講座④淡路島の近代【時】9月26日(土)10:00～【講師】淡路文化史料館職員【所】１階研修室
【料】受講料400円＋資料代【申込締切】9/23【問･申込】洲本市立淡路文化史料館

いざなぎの丘元気っ子フェスティバル

入場無料
（催しによっては個別に材料費をいただきます）

と　き　平成21年9月27日(日)　10:00～　ところ　淡路文化会館･淡路香りの公園周辺

体験･遊びイベント

★なつかしの版画体験　★コマづくりとゲーム　★紙芝居･絵本読み聞かせ　★さわって見る絵本　★ドングリ工作　★マジック体験　★なるほど化学実験　などなど

◆消防車やパトカーの乗車体験もできるよ。

販売コーナー

☆コロッケ、アイス、焼きそば、たこ焼き、クッキー、野菜、わたがし、飲み物、ポン菓子、わらびもち、あめ細工、フランクフルト、焼き鳥　などなど

親子おそろいでお越しください。

主催：いざなぎの丘元気っ子ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ実行委員会　淡路文化会館　淡路文化会館運営協議会　共催：淡路香りの公園
後援：洲本市・洲本市教育委員会・南あわじ市・南あわじ市教育委員会・淡路市・淡路市教育委員会・淡路教育事務所
連絡先：淡路文化会館　いざなぎの丘元気っ子ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ担当　世古　０７９９－８５－１３９１

ギャラリーインフォメーション

淡路文化会館　TEL 85-1391【料】無料
（展）…展示室　（ギ）…県民ギャラリー　（資）…資料室

仲野壽志木版画展（展･ギ）	（～ 9/17）
溝尾眞理子人形展（展）	（9/19～ 9/27）
つくろう館･あわじ島生まれのうえコマちゃん &木金カブト虫展（ギ）	（9/19～ 9/27）
潮香会小品展（展）	（9/29～10/11）
淡路日本画ｾﾐﾅｰ三美会「色紙展」（ギ）	（9/29～10/15）
2009兵庫県文化賞受賞者小品展（展）	（10/14～10/21）
学ぶ高齢者のつどい 淡路ﾌﾞﾛｯｸ大会作品展（展･ギ）	（10/23～10/28）
全日写連淡路支部作品展（展･ギ）	（10/29～11/ 8）

洲本市民交流センターアールギャルリー　TEL 24-4450【料】無料

淡路デジタルフォトクラブ写真展	（9/ 2～ 9/29）
洲本フォトサークル写真展	（10/ 1～10/25）

洲本市民工房　TEL 22-3322

戸塚刺繍展	（10/31～11/ 4）

玉青館　TEL 36-2314　休館日:毎週月曜(月曜が祝日の場合はその翌日)
【料】大人300円、高･大 200円、小･中 100円
※小中生は「ｺｺﾛｶｰﾄﾞ」「のびのびﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ」利用可

平成21年度 館蔵品展Ⅱ	（～ 9/30）
～移動美術～中原清隆展	（10/ 4～11/29）

淡路人形浄瑠璃資料館　TEL 43-5037【料】無料

淡路人形頭展「三原木偶づくり講座生作品」	（～11/ 4）
淡路人形絵画展	（～10/20）
淡路人形名場面「絵本太平記」	（来年8月下旬まで）

西淡公民館　TEL 42-3849

淡路の通行手形展	（～9/25）

編 集 だ よ り

待ちに待った「どろんこバレー」当日。
前日夜から降り出した大雨は、当日の朝になっても止まず…そんな中試合は始まりました。
私たちのチーム名は「南淡乃風」「西淡乃風」！！毎週体育館でバレーをしている15人の仲間たちです☆
試合中は雨がすごくて目を開けるのが精一杯…。海外からの参加チームとの対戦もあり、誰が見てもその身長差から試合の結果は予想がついていました…。「*オシカッタネ*♪」と励まされ、最終的に私たちのチームはどちらも一勝一敗！という結果で終わりました。
「泥に突っ込めるガッツさえあれば…」という「古ギャル's」の皆さんの言葉がダイブへと後押ししてくれました！
最後は泥の中から顔だけ出して記念撮影し、全員で横一列に手をつないでダッシュ＆ダイブ！！！泥合戦！！泥パック！！
高校を卒業して5年目に再び来た「青春」でした☆★☆　宮本

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内の約240カ所に配布しています。ウェブでご覧になるとカラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのお便り、まちの情報をお待ちしています。　下記までお気軽にどうぞ！

キャラクターのポケたんだよ！

（発行）淡路生活創造応援隊
淡路県民局　淡路文化会館・淡路生活科学センター
〒656-1521 淡路市多賀600
TEL 0799-85-1391
FAX0799-85-0400
E-mail：bunka-85awaji@maia.eonet.ne.jp

「ポケットあわじは」どこで手に入るの？・・・淡路島内各市の庁舎・公民館、ホール、商業施設などで無料配布しております。また、淡路文化会館のホームページ・下記URLでもご覧になれます。

http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/